

令和7年度 第3回学長選考・監察会議議事録

I. 日 時 令和7年9月18日（木） 16時00分～16時45分

II. 場 所 オンライン

III. 出席者 西堀（議長）、河田、塩尻、島田、銭谷、
伊藤、内山、大鳥、増島、松浦、三木、和田各委員
ワザバー 大井監事、山本監事、丸山事務局長
（欠席者：宮坂委員）

IV. 前回議事録について

前回の議事録（案）について、原案のとおり承認された。

V. 議 事

1. 学長の業績評価について

（1）令和8年度における学長の業績評価にかかるスケジュール及び実施方法について

西堀議長から、「令和8年度における学長の業績評価にかかるスケジュール及び実施方法について」、審議願いたい旨発言があった後、事務局から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

（2）令和9年度以降の学長の業績評価実施方法について

西堀議長から、「令和9年度以降の学長の業績評価実施方法について」、審議願いたい旨発言があった後、事務局から、「国立大学等における学長等の業績評価実施方法の調査結果」について、参考資料1及び参考資料2に基づき報告があった。

次いで、西堀議長から、次の2点を論点にしたいとの提案があり、意見交換が行われた。

審議の結果、議長と事務局において、本日の意見を踏まえた検討案をまとめ、執行部に将来構想の検討状況などを確認のうえ、次回会議に報告し、継続して審議することとなった。

【議長提案論点】

- ・業績評価について、これまでどおり5段階評価で実施するかどうか。
- ・昨今の国立大学は、大きな改革が求められており、「YOKOTE VISION」やこれから策定予定の2040年に向けた将来構想を今後どのように進めていくのかについて、学長から年度の計画を提出いただいたうえで（将来構想や次年度計画は経営協議会での承認が前提）、翌年に改革の進捗状況を確認することを評価の大きなポイントとしてはどうか。

意見交換において出された主な意見は次のとおり。

- ・現在の評価項目である附属病院や附属学校は別次元であると考えため、

「YOKOTE VISION」等に沿った評価を毎年実施する形に賛同する。

- ・ 5段階評価については、評価前に各委員の評価基準を揃えて、その基準を学長が認識していれば、継続してもいいと考える。
- ・ 附属病院や附属学校については、組織をどのように考えているかが分かるため、評価項目としてあってもいいと考える。また、「YOKOTE VISION」等に沿った評価は、定量的なものではなく取組姿勢を評価する形が望ましい。
- ・ 「YOKOTE VISION」等に沿った評価に賛同するが、5段階評価は馴染まないと考えるため、コメントを返すなどの方式が望ましい。
- ・ 「YOKOTE VISION」等に沿った評価に賛同する。5段階評価は、客観的に数字で表すことが難しく、また、結果の数字が独り歩きすることもあるため、廃止して定性的にしっかり記述する形が望ましい。
- ・ 5段階評価の基準を揃えるのは、色々な意見があるので難しい。文章で定性的に良い面や悪い面を記述する形が望ましい。
- ・ 千葉大学がより良き大学になるように改革を進めることが大事であるため、定性的な評価を実施することが重要である。
- ・ 定性的な評価をすることは非常に重要だが、褒めるだけになってしまうと問題であるため、期待すべき点や要望についても記載する形が望ましい。なお、これまでの評価項目に新たに「YOKOTE VISION」等の将来構想の項目を加えるのか、別の形になるのかを教えてほしい。
- ・ 「YOKOTE VISION」等の将来構想に沿った改革がどれだけ進んでいるのか、また学長がその点にどれだけ注力しているかをみて評価することが大事なので、これまでの評価項目に加え、新たに総合評価を設け、それぞれの項目において、このポイントを重視して評価する方向で考えたい。

以上